

(1)事業の概要等

令和7年度 詳細評価シート

事業番号		B1901		事務事業名			姉妹都市・友好都市交流事業			事業期間			昭和63年度以前		～	令和9年度以降									
実施計画事業		○		担当部			地域活性化営業部			担当課・担当係			シティプロモーション課		都市交流係										
評価対象年度		令和 6 年度		基本			19	展開	1	事業区分			その他(評価対象)			款	7	項	1	目	3	大	5	中	1
事業の概要・展開	事業の目的・効果		<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市・友好都市との交流を深め今後のより良い関係づくりに寄与する。 ・市民が主役となる都市間交流を推進し、小牧の魅力の発信や市民の愛着と誇りを醸成する。 ・市内中学生を対象に、国際社会に必要な幅広い視野と豊かな人間性を育む。 <p>[効果]</p> <p>小牧の魅力の発信や市民の愛着と誇りを醸成することにより、小牧市に「訪れたい人」、「住みたい人」、「住み続けたい人」が増える。次代を担う中学生が社会の変化に対応できる国際感覚を習得することができる。</p>										事業概要			<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市米国ワイアンドット市、友好都市米国グラント郡と、ホームステイや学校体験などを通じて国際感覚を習得することを目的とした中学生相互交流事業を実施 ・民間交流を目的として姉妹都市、友好都市を訪問する市内在住、在勤、在学者へ助成金を交付(姉妹都市・友好都市交流事業助成金、八雲町宿泊施設助成金) ・小牧市・八雲町交流市民の会事務局事務(記念品配布、交流会の実施等) ・記念事業等への親善訪問による都市間交流を実施 									
	事業の経緯・年度計画		<p>[経緯]</p> <p>[ワイアンドット市] 昭和38年に姉妹都市締結。平成10年度より中学生相互交流事業を開始。 令和5年度中学生受入事業を実施(9名受入)、令和6年度中学生派遣事業を実施(12名派遣)、令和7年度中学生受入事業を実施予定(4名受入)</p> <p>[グラント郡] 令和元年にMOU締結。令和2年度より中学生派遣事業を開始。 令和2年度～令和6年度ZOOMによるリモート交流を実施 令和5年初めての中学生派遣事業を実施(10名派遣) 令和7年第2回中学生派遣事業を実施予定(8名派遣)</p> <p>[安養市]昭和61年に両市の日韓・韓日親善協会が姉妹結縁調印。平成10年度より小学生相互交流事業を実施していたが、平成29年より中止。 [八雲町]昭和58年に児童交流を開始。平成元年に小牧市で「小牧市・八雲町交流市民の会」設立、平成22年に八雲町で「小牧市と交流する八雲町民の会」設立。</p> <p>[年度計画]</p> <p>ワイアンドット市とは中学生生徒の受入と派遣を隔年で実施、グラント郡とは隔年で生徒派遣を実施。 八雲町宿泊施設利用助成金の交付、小牧市・八雲町交流市民の会事業(交流会等)の実施 令和7年度は市制70周年事業として姉妹都市・友好都市招聘事業を実施し、八雲町開町20周年記念式典に出席。</p>																						

(2)事業費

		項目		単位等	R3	R4	R5	R6	R7	
事業費	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	286	8,538	19,263	6,469	
				国・県支出金		0	0	0	0	
				その他		0	0	1,500	1,721	
				計(A)		286	8,538	20,763	8,190	
				対前年比	%	—	2,985.31%	243.18%	39.45%	
	人件費		予算額	千円	3,407	11,066	31,972	20,101	25,269	
			正規職員	人	2	2	1.75	1.5		
			会計年度任用職員	人	0	0	0.5	0.5		
			人件費(B)	千円	15,048	15,048	14,489	12,608		
			事業費合計(C=A+B)	千円	15,334	23,586	35,252	20,798		

(3)業績

		指標ほか	単位	R3	R4	R5	R6	R7
指標	成果指標	交流事業参加者数	人	目標	—	—	—	—
				実績	403	399	478	523
	活動指標	実施した交流事業の数	事業	目標	—	—	—	—
				実績	3	4	8	10

(4)事業の評価

事業の方向性		維持(改善)	事務事業評価による額			200千円	
事業の実施状況	事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	<p>姉妹都市・友好都市交流事業全体として、令和5年度まで新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。コロナ収束後は交流事業参加者数及び交流事業数も増加傾向にあるが、交流事業数は交流先の事情や社会情勢等に影響を受けやすい側面がある。</p> <p>・姉妹都市・友好都市交流事業助成金の利用実績 令和5年度はワイアンドット市およびグラント郡への訪問が4件、安養市への訪問が3件の計7件150千円を交付した。令和6年度はワイアンドット市、グラント郡、安養市を訪問する市民等がいなかったため0件であった。</p> <p>・八雲町宿泊施設利用助成金 小牧荘の廃止に伴って平成24年から交付。 令和4年度 54件263,250円 令和5年度 64件320,000円 令和6年度 106件528,850円</p>	今後の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市・友好都市交流事業助成金は、姉妹都市・友好都市と交流する市民団体をはじめとする市民が今後も交流を続けていくため助成金の交付は継続するものの、過去の実績から申請件数が少ないことから、予算額(定員)の縮小を検討する。 ・八雲町宿泊施設利用助成金は、近年増加傾向にあることから申請者数の動向を注視しながら、助成金を引き続き交付する。 ・中学生派遣事業 参加生徒の負担金は、上限額または経費の1/3のどちらか安価な方としている。物価高騰や円安により必要経費が増加しており、公費の負担割合が大きくなっていることから、参加生徒の負担金上限額を2年に一度見直す(ワイアンドット市・グラント郡で隔年のため2年ごと)。直近では、令和6年度の上限額15万円から令和7年度は上限額20万円に引き上げた。今後も引き続き適切な受益者負担について検討することとする。 			
	E(廃止)業務自体を無くせないか	No	改善 取組内容	<p>・姉妹都市・友好都市交流事業助成金 これまでの実績から予算額を見直し、令和8年度から50万円を30万円に引き下げる。</p> <p>【実績】 令和元年度 0円 令和3年度 0円 令和5年度 15万円(3名) 令和2年度 0円 令和4年度 0円 令和6年度 0円</p>			
	C(結合)作業をまとめられないか	No					
	R(入替・代替)手順や担当を変えられないか	No					
	S(単純化)もっと簡単にできないか	Yes					